

横浜市感染症発生動向調査報告(令和8年5月)

《今月のトピックス》

- 海外渡航歴のない麻しんの報告が続いています。
- 腸管出血性大腸菌感染症が幅広い年齢層で多く報告されています。
- ワクチン接種歴の確認できない侵襲性肺炎球菌感染症の報告(成人例)が増えています。

◇ 全数把握の対象 <2026年4月20日～2026年5月24日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	16件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
E型肝炎	4件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3件
A型肝炎	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	13件
レジオネラ症	4件	多剤耐性緑膿菌感染症	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3件	梅毒	20件
急性脳症	1件	百日咳	14件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4件	麻しん	1件

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～80歳代で、O血清群はO157が4件、O26が5件、O111が1件、O103が1件、O168が1件、O不明が4件です。無症状病原体保有者は7件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が5件、不明が11件です。
2. **E型肝炎**:40歳代～70歳代で、無症状病原体保有者は1件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が2件、不明が2件です。
3. **A型肝炎**:40歳代～60歳代(ワクチン接種歴無1件、不明1件)で、感染経路等は性的接触感染と経口感染が推定されます。
4. **レジオネラ症**:70歳代～90歳代で、4件とも病型は肺炎型で、感染経路等は水系感染と推定される報告が1件、不明が3件です。
5. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:50歳代～90歳代で、感染経路等は医療器具関連感染と推定される報告が1件、院内感染と推定される報告が1件、不明が1件です。
6. **急性脳炎**:20歳代で、病原体は不明です。感染経路等は動物・蚊・昆虫等からの感染(推定)です。
7. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:50歳代～80歳代で、血清型はA群が2件、C群が1件、G群が1件です。感染経路等は創傷感染と推定される報告が1件、不明が3件です。
8. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:40歳代で、病型は無症状病原体保有者です。感染経路等は性的接触(同性間)と推定される報告です。
9. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:50歳代～70歳代(ワクチン接種歴不明3件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、不明の報告が2件です。
10. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴4回1件、無3件、不明9件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が2件、飛沫・飛沫核・接触感染と推定される報告が1件、不明が10件です。
11. **多剤耐性緑膿菌感染症**:60歳代で、感染経路等は以前からの保菌と推定されます。
12. **梅毒**:20歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期6件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件、無症状病原体保有者が10件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が16件(異性間9件、同性間4件、詳細不明3件)、不明の報告が4件です。
13. **百日咳**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴4回2件、3回1件、不明11件)で、感染経路等は家族内感染が3件、周囲の流行が1件、不明の報告が10件です。
14. **麻しん**:40歳代(ワクチン接種歴1回)で、検査診断例です。感染経路等は不明です。

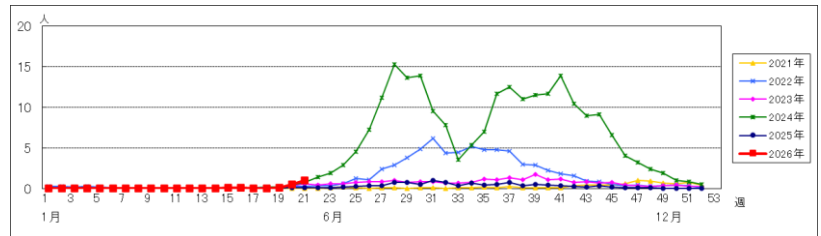
◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94
→51、内科定点は59→39医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2026年第17週	4月20日～4月26日
第18週	4月27日～5月3日
第19週	5月4日～5月10日
第20週	5月11日～5月17日
第21週	5月18日～5月24日

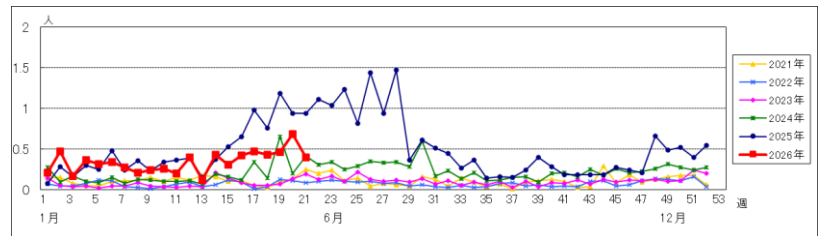
1 手足口病

2024年第28週(7月8日～7月14日)に14.84まで上昇しましたが、2025年は報告数が1.00を超えることはありませんでした。2026年第21週は1.00と増加しています。



2 水痘

2025年第47週(11月17日～11月23日)に再度増加し、例年の同時期よりもやや高い値で推移しています。第21週は0.40で、1～6歳の未就学児の患者報告が45.0%を占めています。



3 性感染症(2026年4月)

性器クラミジア感染症	男性:40件	女性:17件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:8件	女性:7件
尖圭コンジローマ	男性:20件	女性:2件	淋菌感染症	男性:14件	女性:4件

4 基幹定点週報

	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00	0.25	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00

5 基幹定点月報(2026年4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5 か所、ARI 定点:4 か所、眼科定点:1 か所、基幹(病院)定点:4 か所の計 14 か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI 定点と ARI 定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院) 定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2026 年第 17 週～第 21 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症) 定点 118 件、小児科定点 2 件、定点医療機関外 1 件でした。

5 月 29 日現在、表に示した各種ウイルスの総数 51 件(うち分離総数 2 件)が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2026 年第 17 週～第 21 週)

診断名	検出・分離ウイルス	総数	うち分離数
ARI	インフルエンザウイルス B (ビクトリア系統)	1	
	インフルエンザウイルス B (型未同定)	3	
	ライノウイルス	25	
	ヒトメタニューモウイルス	7	
	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	4	
	RS ウイルス	2	
	パラインフルエンザウイルス 1型	3	
	パラインフルエンザウイルス 3型	1	
	パラインフルエンザウイルス 4型	2	
	ヒトパレコウイルス 1型	1	1
	アデノウイルス 1型	2	1
手足口病	インフルエンザウイルス B (ビクトリア系統)	1	
	ヒトメタニューモウイルス	1	
	合 計	51	2

【 検査研究課 微生物(ウイルス医動物)担当 】

〈細菌検査〉

2026年第17週～第21週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症9件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症6件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(保菌者含む)3件、多剤耐性緑膿菌感染症1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症4件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3件、侵襲性肺炎球菌感染症2件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症2件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎10件、「ARI定点」から5件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2026年第17週～第21週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	9	O157:H7 VT1 (1)
			O157:H7 VT2 (1)
			O26:H11 VT1 (3)
			O168:H+ VT2 (1)
			OUT:H+ VT1 (1)
			OUT:H+ VT2 (1)
			OUT:H- VT1 VT2 (1)
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6	<i>Staphylococcus aureus</i> (6)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌保菌者	1	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)
多剤耐性緑膿菌感染症	1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> (1)	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能 (3) <i>Haemophilus influenzae</i> a型 (1)	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	A群溶血性レンサ球菌 T4型 (1) A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (1) G群溶血性レンサ球菌 (1)	
侵襲性肺炎球菌感染症	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 38型 (1) <i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	

分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	レジオネラ症	2	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG6 (1) <i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)

小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (5) A群溶血性レンサ球菌 T1型 (1) A群溶血性レンサ球菌 T4型 (1) A群溶血性レンサ球菌 TB3264型 (1) A群溶血性レンサ球菌 培養陰性 (2)

ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	5	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (1) A群溶血性レンサ球菌 培養陰性 (4) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 (5) 百日咳菌遺伝子 陰性 (5) 百日咳菌 培養陰性 (5)

【 検査研究課 微生物(細菌)担当 】